

保健事業実施のための 所属所との連携・協働の推進(コラボヘルス)について

共済組合では、組合員および被扶養者の健康の保持・増進、疾病の予防を目的に、「データヘルス計画」を策定し、保健事業を実施しています。2024年度からは「第3期データヘルス計画」に基づき保健事業を実施しています。

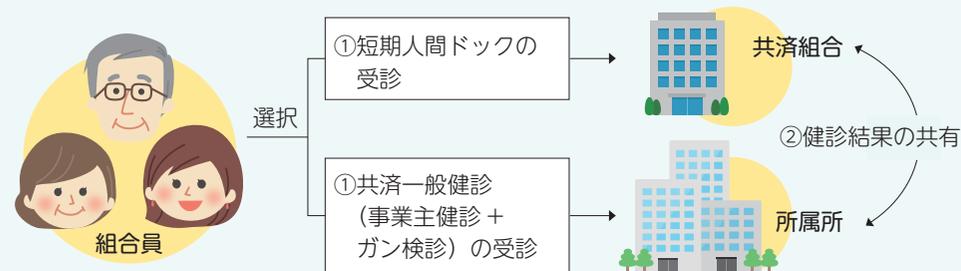
計画の実行や保健事業の実効性を高めるためには、共済組合と所属所との連携・協働の推進(コラボヘルス)が不可欠です。

このため、健診事業・保健指導事業の共同推進、健診結果・保健指導結果の提供や組合員の個人情報の取り扱いについて、共済組合と所属所との間で覚書を締結し保健事業を実施します。

所属所とのコラボヘルスによる事業とその流れ

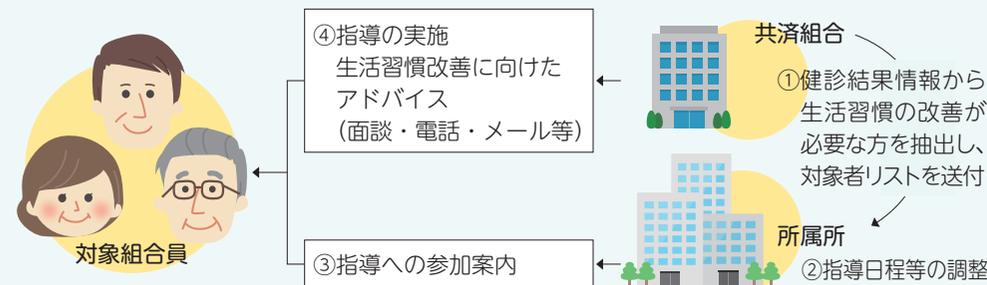
健診事業

- 短期人間ドック健診 1日・1泊2日・2日通院
- 共済一般健診(事業者健診+ガン検診) 所属所で行う定期健康診断およびガン検診



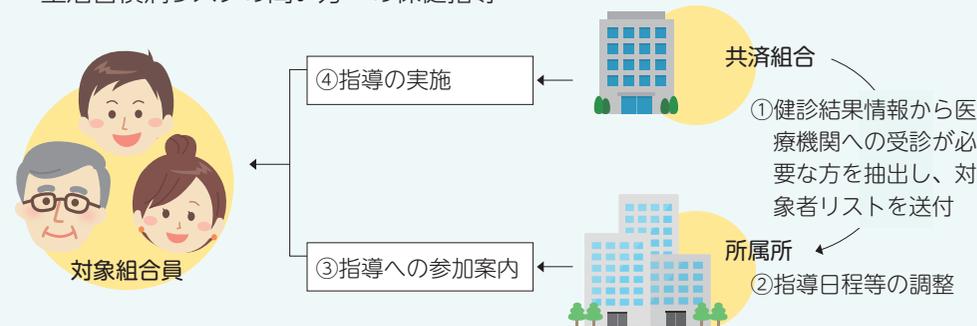
保健指導事業(健診結果をもとにレベル分けを行い、保健指導を実施します。)

- 特定保健指導 40歳以上の基準該当者を対象に生活習慣改善を目的とした保健指導
- 保健指導 40歳未満の基準該当者に特定保健指導と同様の指導

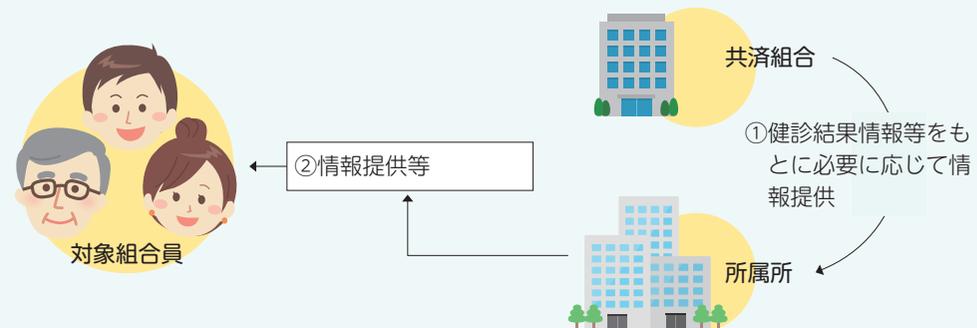


● 受診勧奨

- ・生活習慣病リスクの高い方への保健指導



- ・生活習慣病リスクに関する情報提供等



● 禁煙指導事業

- 禁煙セミナー実施による禁煙サポート

